

令和3年度

社会福祉法人 景福会

事業計画書

令和3年3月13日

基本理念

「和顔愛語」

おだやかな笑顔(和顔)と、思いやりのある話し方(愛語)で人に接します。

基本方針

「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、以下を実践していきます。

1. 利用者様の人権を尊重し、個人の尊厳が守られる福祉サービスを提供します。
2. 利用者様のプライバシー・個人情報を保護し、信頼性の高いサービスを提供します。
3. 社会福祉法人として良質かつ安全安心な福祉サービスを継続的に実施できるようにサービス品質の向上に向けた取り組みを行います。
4. 地域の様々な福祉課題、生活課題に主体的にかかわり、多様な関係機関や個人との連携・協働を図り公益的取組みを進めていきます。
5. 良質な福祉人材の確保、福祉の仕事の啓発のための情報発信、福祉教育に取り組みます。

認知症介護理念

苛立ちや不安、不穏感が高まらないよう配慮します。

目線を合わせ、笑顔で会話をし、なじみの関係を作る努力をします。

束縛や禁止のない日常生活を過ごしていただき、そして自由を大切にするための努力をします。

令和3年度事業方針

今年度は3年に一度の介護報酬の改定時期であり、求められる体制の構築、新しい加算取得に向けた体制を作り実行していきます。また、働き方改革関連法による「正規・非正規雇用間の不合理な待遇差解消」によるコスト、人材確保にかかるコスト、設備老朽化に伴う維持コスト等収益を圧迫する要因が散見されます。

今期はデイサービス収益強化策および唐孔雀園特養の営業強化を図ると同時にコンサルティング会社と検討中の法人全体の今後の事業展開進捗に向けた準備期間とします。

人 事

(1) 人員および教育体制

前期は桜花台園の派遣介護職員多用からの脱却を図るため、ハローワーク・合同面談会・各種学校・紹介会社へのアプローチをおこない多くの直接雇用職員の採用ができました。唐孔雀園も派遣職員を減少させるべく桜花台園同様のアプローチを行いましたが、退職職員の補充採用に留まり結果を出せませんでした。

今期は引続き新卒採用のための学校訪問、各種団体主催の福祉系求人面談会に積極的に参加するとともに、実習生の受入等を積極的におこない実習指導者と学校の担当教職員とのコミュニケーションも図っていき入職につなげていきます。コロナ禍の中、生活のため介護業界の門を叩く人は増加しているようですが、資格経験なしが大半です。こういう人材を受入れるため、教育指導ができるスキルの高い職員の採用も積極的に行います。

また、現在受入れている外国人留学生1名は、本人の努力もあり就学・アルバイトでの実習も順調で令和4年に介護福祉士資格を取得して当法人の職員として迎える予定です。

(2) 諸規程の見直し

今年度施行の働き方改革関連法「同一労働・同一賃金」により、昨年度実施した人事条件による区別をさらに細分化し、業務・勤務条件によりパートを含む全職員の賃金体系見直しを図るとともに、休暇・休職等の就業規則の均等化も図ります。

経費

- (1) ハローワークからの応募が皆無な中、派遣職員に頼らない職場にするため効果的な有料媒体を使つての職員確保は積極的に行っていきます。
- (2)設備関係は、唐孔雀園・桜花台園とも今後の事業展開確定まで既設維持にとどめ、大規模な改修等は控えていきます。
- (3)今期は介護ソフト、会計・給与ソフトの更新時期にあたり、法人に最適な更新をするとともに、働き方改革法で施行されている厳格な「労働時間管理」を実施するための勤怠管理ソフトの更新も検討していきます。

地域貢献

(1)地域支援プロジェクト

前期はコロナの影響で実施を見合わせていましたが、今期はコロナの中でできる支援を検討していきます。

(2)生活困窮者就労訓練事業等への協力

生活困窮者就労訓練事業の受入事業所として、今年度も引き続き協力していきたいと思えます。

(3)災害時のための支援体制

桜花台園は災害時福祉避難所になっています。地域との連携を図り具体的な体制等整備をしていきます。

各事業の基本方針等について

今年度の介護保険法改正において全介護サービス事業所で利用者の人権擁護・虐待防止の観点から、虐待発生またはその再発防止のため、委員会の開催・指針整備・研修実施・担当者の配置が義務づけられました。3年の経過措置期間はありますが、今年度中に委員会の立ち上げ等、準備していきます。

また、これを機に利用者様の人権を尊重し、個人の尊厳を守ることの重要性について、職員が認識を深めるよう「倫理綱領」の策定、人権教育等の具体的取り組み強化していきます。

■唐孔雀園

○基本方針

・特養・ショート

唐孔雀園は、利用者様の尊厳をまもり、安心して生活を送って頂く場所です。

私たちは、利用者様個々の状況に応じた質の高いサービスを提供し、利用者様及びご家族様が、安心して生活できるよう支援を行っていきます。

令和3年度も利用者様が、日々安心して快適な日常生活を送っていただけるように思いやりの心を持ち、笑顔で温かみのある言葉掛けを行いながら、丁寧な介護を心掛け身体面・精神面の援助を行っていきます。

認知症の利用者様については、当園の認知症介護の理念に沿った援助を行うことにより、笑顔で安心して過ごしていただくことで、認知症の進行が緩やかになるように支援します。その為に職員全員が、介護技術や接遇マナーの向上に努め、多職種連携を深めることで利用者様に対してより良いサービスが提供できるように、資質の向上に努めていきます。

・デイサービスセンター

利用者様の自立支援と生活の質向上に努め、充実した在宅生活ができるよう支援します。利用者様の事故防止に努め、安全で満足できる質の高いサービスを提供します。市町村、地域の保健・医療・福祉等の各関係機関と緊密な連携を図り、地域福祉の拠点として地域社会に貢献できるサービスを提供します。

重点項目

利用者様の立場になって考え、感謝の気持ちと笑顔を忘れずに対応します。利用者様の身体的、精神的な状況に応じた満足できるサービスを提供します。利用者様の豊富な知識と能力を引き出し、生活の場で発揮できるように支援します。利用者様のケアマネージャーと情報共有化と連携強化により、質の高いサービス提供します。利用者様の孤立感と、ご家族の身体的・精神的負担の軽減を図るように努めます。専門的技術の向上のため、外部講習・研修に参加し内部研修の充実にも努めます。

■桜花台園

○基本方針

職員全員が介護スキル・接遇マナーの向上に努め、利用者様により良いサービスを提供するとともに、地域密着型の施設としてそのノウハウを地域に還元していきます。

・特 養

一人ひとりの状態により添ったユニットケアの基本である個別ケアを目指します。また、重度化が進む入居者様への適切なケアを実践し、本人、ご家族様にとって居心地の良い生活が送れるよう努めます。

入居者様、ご家族様が望まれる生活を支えていくため、介護、看護、ケアマネ、管理栄養士、医師が連携、情報を共有し統一されたケア、医療を提供できるようにします。

・ショート

在宅生活に合わせたケアを目指し、生活支援のみならず趣向や楽しみを見出しメリハリのある毎日が送れるように努めます。

軽度者から重度者の方まで広く「桜花台園なら利用したい」と言われるように個別的関わりを重視します。

在宅生活をご家族、サービス事業所、インフォーマルサービス、担当ケアマネージャー、主治医等と情報共有し、宿泊時に適切な介護が実施できるようにします。

・小規模

利用者様の多様なニーズに応えるため、小規模多機能の特性を生かした通い、宿泊、

訪問3つの機能を適切にプランニングしサービス提供できるようにします。

地域行事や地域との交流行事などを通して地域ネットワークを広げ、地域に根差した事業所を目指します。

現在の生活環境をしっかりと把握し利用者様・ご家族の思いを知ることで、住み慣れた地域で生活ができるように努めていきます。

・看護

入所者様、利用者様の重度化に伴い、疾病の管理や医療処置が多く求められています。些細な変化の早期把握・早期対応により、重症化・重篤化を回避し、できるだけその人らしい健康な暮らしが維持できるように支援します。

職員の心身状況を把握し、ストレスへの対応や疾患の早期治療をすすめます。

感染対策において、今年度も感染予防に注力していきます。

■景福会栄養・地域配食課

○基本方針

食を提供する専門職として、利用者一人ひとりの意向や問題点を細やかに把握し、個々人にあった効率的・効果的な栄養ケアの提供がより一層求められると同時に唐孔雀園、桜花台園は生活の場でもあります、毎日の食事を楽しんでいただくために、献立作成から喫食までの一連の食事や食事環境(食事の盛り付け、食器、適温適時、衛生管理)にも、利用者様のニーズが反映できるよう努めていきます。

今年度は介護報酬改定が行われます。新設および改定された加算内容を十分に理解し取り組んでいきます。

また、景福会、南溟会と協力し、食を通して、地域とのつながり強化に努力し、施設内・地域・全ての方々から喜ばれ安心、安全な食事の提供を目標としていきます。